

昭和60〜平成6年

1985〜1994

昭和から平成へ、変わらぬ意思



昭和61年、青年部結成25周年を記念して母への感謝大会を開催



昭和60年、靖国神社公式参拝 悲願達成三重県大会を開催



昭和63年、三重県遺族会結成40周年記念式典

世相メモ 昭和62年

中曽根内閣の政権下、日本国有鉄道（国鉄）が分割され、6つの地域別の旅客鉄道会社（JR東日本、JR東海、JR西日本、JR北海道、JR四国、JR九州）と1つの貨物鉄道会社（JR貨物）となった。こうして国鉄は、明治5年の開業以来、115年の歴史に幕を閉じ、民営会社として再発足した。



昭和天皇崩御

昭和60年（1985）

8月 中曽根総理大臣靖国神社に初の公式参拝、閣僚も

昭和61年（1986）

4月 青年部は青壮年部と名称変更
5月 県青壮年部結成25周年記念「母への感謝大会」開催

7月 県青壮年部初の女性部研修会開催

8月 中曽根総理大臣のこの年の靖国参拝見送りを日本遺族会激しく抗議

9月 海外戦跡慰霊巡拝に初の県費助成受ける

昭和63年（1988）

5月 県遺族会結成40周年記念大会開く

平成元年（1989）

1月 靖国神社ご本殿修築工事完工、遷座祭斎行
5月 三重県護国神社創建120年祭 記念奉祝大祭

平成2年（1990）

5月 県青壮年部結成30周年記念大会、母への感謝大会
11月 護国神社奉納菊花展始まる



平成2年、三重県青壮年部結成30周年記念式典で講演する橋本龍太郎蔵相（当時）



平成4年、長谷川日本遺族会長が逝去

世相メモ
昭和63年〜平成元年
 昭和天皇が昭和63年9月19日に吐血し病臥すると、各地に病氣平癒を願う記帳所が設けられた。多くの人が祈りを込め記帳したが、翌年1月7日に崩御。同日、小渕恵三内閣官房長官により新たな元号「平成」が発表され、「激動の昭和」「時代が幕を閉じた。この年、消費税（3%）が導入される。



平成元年、田村会長が衆議院議長に就任



平成3年、戦没者遺児による慰霊友好親善事業初の派遣団が中国で現地少年らの歓迎を受ける

世相メモ
平成5年
 自民党が野党となり、8党連立による細川内閣が成立。冷夏による凶作で、米の緊急輸入が決定された。暗いニュースも多かったが、初の外国人横綱の誕生やサッカーJリーグの開始、そして、皇太子殿下と雅子さまの成婚など新時代を思わせる出来事も多かった。



平成5年、母の像移築除幕式に参加する戦没者のひ孫たち



平成6年、全国戦没者追悼式で、追悼文を捧げる谷青壮年部長（当時）

- 平成3年（1991）
 9月 戦没者遺児による国の慰霊友好親善事業始まる
- 平成4年（1992）
 4月 県婦人部「妻特給継続増額」求め総決起大会
- 平成5年（1993）
 5月 県青壮年部、母の像を護国神社社頭に移築